

「大動脈弁に対する Virtual CT Intravascular Endoscopy における Adaptive Statistical Iterative Reconstruction の有用性」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2018 年 7 月 20 日から 2018 年 8 月 4 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

4D Virtual CT Intravascular Endoscopy (VIE) と呼ばれる検査により得られた CT 画像は、大動脈弁の可動性を評価する上で有用です。しかし、評価する際、大動脈弁に孔が開いたように見える現象 (Pierced Surface Artifact: PSA) が問題となることがあり、その PSA はノイズの多い画像で出現しやすいことが示されています。

従来より、VIE は Filtered Back Projection (FBP) という手法が用いて CT 画像化されています。一方、逐次近似再構成である Adaptive Statistical Iterative Reconstruction (ASiR) と呼ばれる手法は、FBP 手法に比べてノイズの少ない画像が得られることから、VIE を CT 画像化する際の PSA の低減が期待されています。

本研究の目的は、大動脈弁に対する VIE を画像化する際、ASiR を用いて再構成した CT 画像を用いることによって PSA を低減できるかどうかを示すことです。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2018 年 2 月 2 日から 2018 年 2 月 19 日の間に、冠動脈 CT を施行した患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、CT 画像の CT 値、ノイズ、アーチファクトの強さです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・服部直弥の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 放射線技師部 担当者 服部直弥
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）